

東京高速道路(KK線)の再生について

東京高速道路(KK線)再生方針 (2021年3月、東京都)

- 東京高速道路(KK線)の既存施設のあり方検討会の提言を踏まえて、都の方針として位置づけ
- KK線の再生に向けて、高架施設の位置付けや事業スキームの考え方などを提示

■再生方針の概要

○都の方針として位置付ける提言内容

- ・ KK線の再生・活用の目標
- ・ 目指すべき将来像、整備・誘導方針

○高架施設の位置付けの考え方

歩行者系機能を有する空間として都市計画を新たに決定

○事業スキームの考え方

民間活力をいかして整備・管理

整備主体等：施設所有者が自ら、又は周辺まちづくりとの連携も想定

管理運営スキーム：現行の誰もが無料で利用できるスキームの継承を想定

○今後の進め方

- ・ 関係者と調整しながら、「事業化に向けた方針」を取りまとめ
- ・ 全区間の整備完了は、2030年代～2040年代を目標
- ・ 段階的整備等による一部区間の早期開放を図る

■周辺まちづくりとの連携



東京高速道路(KK線)接続部の首都高施設のあり方

- KK線東銀座出口は、KK線再生後も首都高からのアクセスが可能
⇒ 出口の機能を確保
- KK線の他の出入口は、KK線再生後は首都高との行き来ができなくなる。
⇒ KK線再生と連携し、汐留JCT付近等のKK線接続部(首都高施設)の有効活用策について、今後検討



<京橋JCT付近>



KK線東銀座出口の機能を確保

- ・既存施設を活用可能
- ・大型車の通行を可能とするための構造改良を検討

<汐留JCT付近>



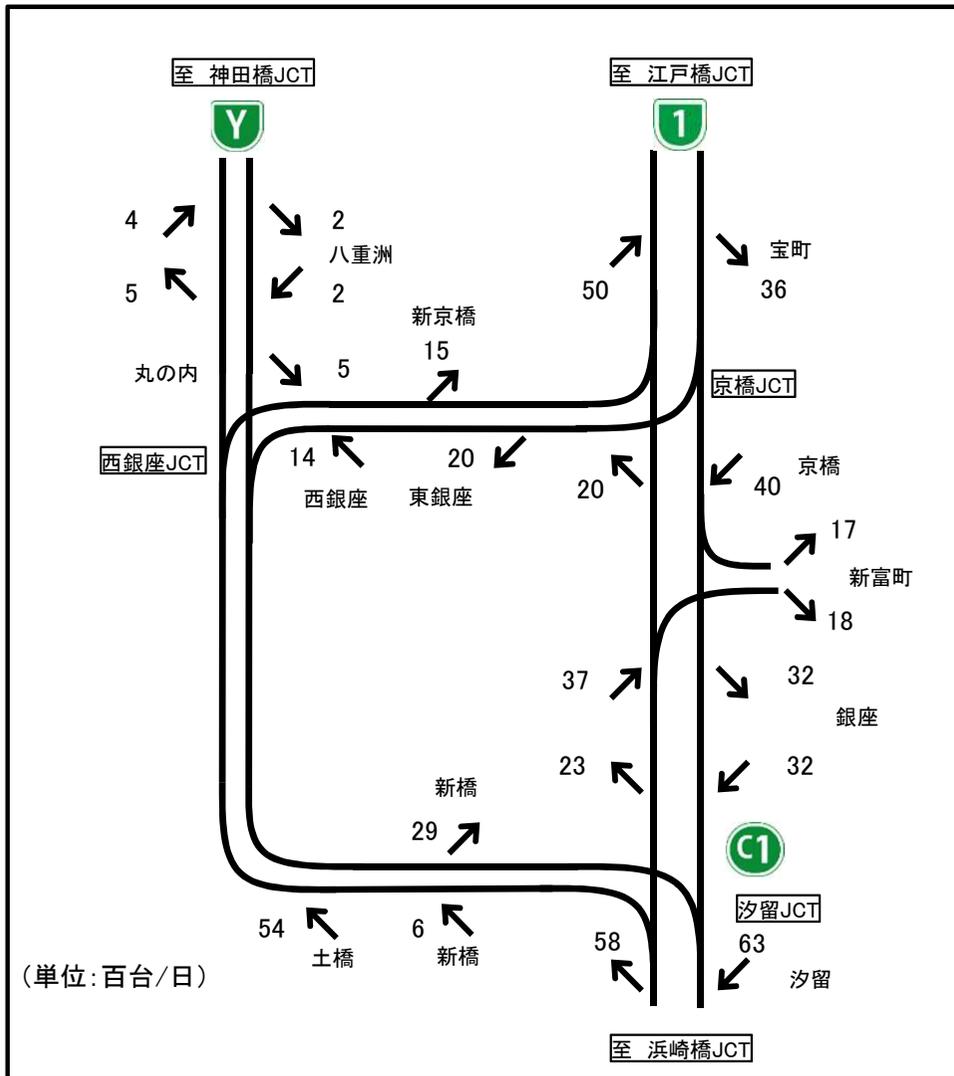
KK線再生との連携

- ・広域的な回遊性を高める観点から、歩行者中心の公共的空間に再生されるKK線と連続した空間形成を検討

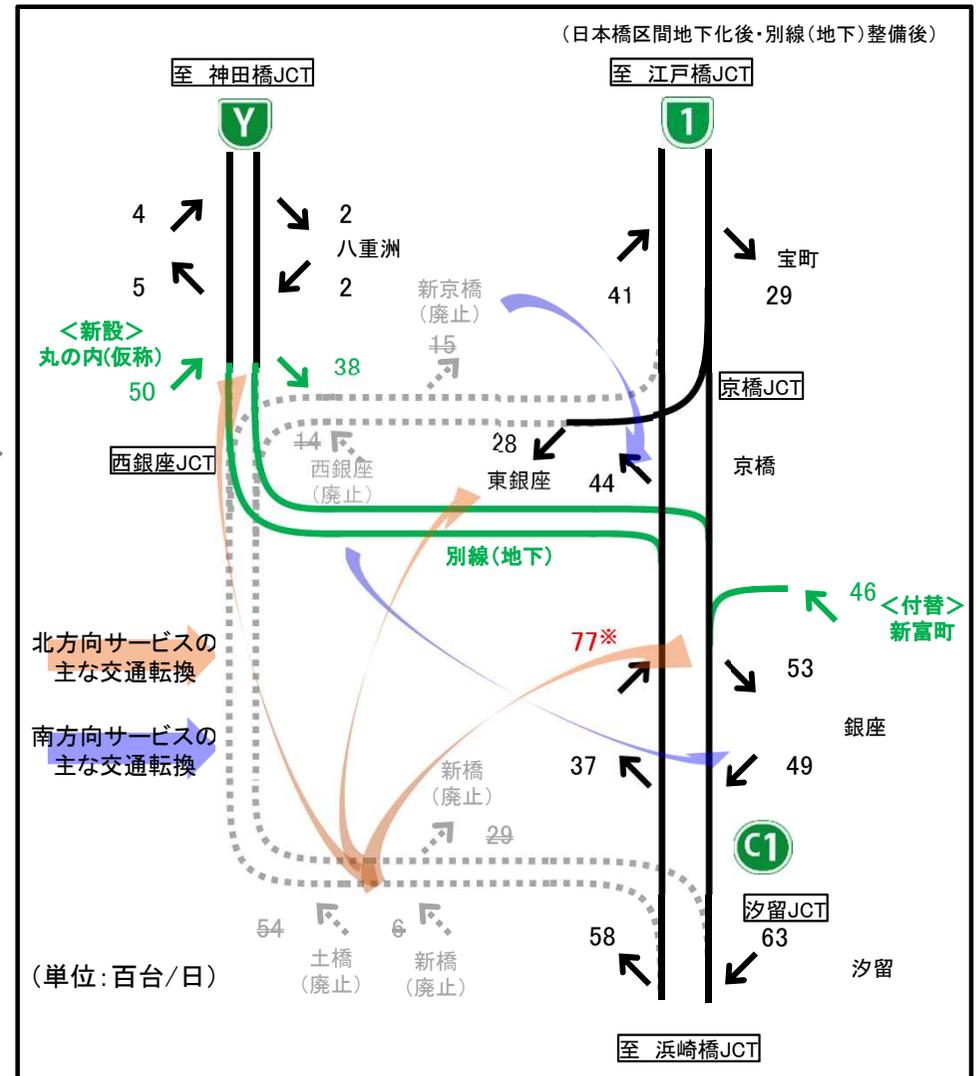
<参考>首都高出入口の交通量の変化

- KK線出入口の廃止等に伴い、銀座などの首都高出入口の利用が増加。
⇒ KK線東銀座出口の機能を確保しつつ、交通負荷軽減について、引き続き検討

現況



KK線再生後(KK線東銀座出口の機能確保)



※街路交通への影響を確認し、必要に応じて直近交差点の信号対応等を検討